

平成 30 年度の資料保全(製本)研修会・図書館ツアーなど

平成 30 年 11 月 8 日と 11 月 22 日の 2 回、都内区市町村立図書館と都関係機関(東京都議会図書館、首都大学東京図書館、特別区協議会図書室、みどりの図書館)の職員を対象に資料保全(製本)研修を行い、合わせて 43 名が受講しました。これは都立中央図書館が東京都の公立図書館として唯一持っている製本や資料保存に関する知識・技術を少しでも東京都全体に広めていこうと、平成 15 年度から行っているものです。大変、人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は、各自治体・機関から原則として 1 名に絞っていただいて実施しています。保存や修理に関する基本的な考え方や知識を学び、身近にあるページの破れやノドの傷み、表紙の外れた本の修理などの実習を行い、正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています(講師は資料保全室職員)。今までの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についての Q & A](#)をご覧ください。

また、館内職員向けには資料保全(製本)研修を 7 月に行い、資料防災訓練(説明会)を、中央図書館では 11 月に、多摩図書館では 9 月に行いました。(都立図書館 Facebook へのリンク参照)

そのほか、「図書館ツアー」の一環として、資料保全に特化した「本の修復見学ツアー」を 6 月 28 日に、「夏休み手作り和本体験ツアー」を 8 月 21 日に、「本の修復見学と和装本づくりツアー」を 1 月 24 日に行い、都民の皆様大変好評でした。

また、資料保全室の業務の見学や資料保存に関する問い合わせが 44 件ありました。



「和装本づくりツアー」の様子



メリーランド大学、学生の見学